

シラージ・サボルチ

フルート、ピッコロ

シラージ・サボルチは、舞台役者の父とアートギャラリーを運営する母の芸術一家に生まれる。

6歳のとき、数々の功績を残しているレメーニ・ヤーノシュコーラスで音楽の勉強を始め、コーラスの一員として、テレビ、ラジオ、CD録音などを数多く経験し、1885年にはアイルランドのコークで行われた国際合唱コンクールで多くの特別賞とともに、大きな賞を獲得した。

9歳でフルートを始め、リスト音楽院にてエルク・ティハメール氏のもとで研鑽を積み、ディプロマを取得。その後ロンドンのロイヤルアカデミーにおいてスーザン・ミラン氏の下で勉強する傍ら、スイスウェギスにてサー・ジェームス・ゴールウェイ氏のインターナショナルセミナーを受講、氏自らの招きでその後も定期的に参加している。

その他、アメリカ、ニューヨークのシヨロシュ基金、スイス、チューリッヒのプロ・ヘルヴェツィア基金、ロイヤルアカデミー、トルコのアンカラ・ビルゲント大学から奨学金を受ける。

1995年からコンチェルトブダペスト交響楽団に在籍。オーケストラの音楽監督は、世界的にも有名なケラーカルテットの第1ヴァイオリニスト、リスト音楽院室内楽科主任のケツレル・アンドラーシュ。また、1996年から97年にかけてフランクフルト室内オーケストラにて、2003-2004、2006-2007シーズンにはハンガリー国立放送響にてヴァーシャーリ・タマーシュ、フィッシャー・アーダームのもと演奏する。

オーケストラでは、小林研一郎、ティエリー・フィッシャー、ユーリ・シモノフ、クリストフ・ペンデレツキー、フュルシュト・ヤーノシュ、ゲルハルト・マークソン、ミヒャエル・ハラース、コチシュ・ゾルターンらの指揮者と、またギドン・クレーメル、サー・ジェームス・ゴールウェイ、エヴェリン・グレニ、ワディム・レーピン、バーバラ・ヘンドリックス、ボリス・ベレゾフスキー、ジュリアン・バンセ、ギル・アパブ、ドミトリー・シストコヴェツキー、オルガ・ケルン、ホセ・クーラ、ポビー・マクファーレン、ブランフォード・マルサリスらのソリストと演奏する。ヨーロッパ各地を始め、中東、イギリスの各地でテレビ、DVD、ラジオ、CD制作に参加し、フンガロトン、BMC、テルデクワナー、ナクソスから発売されている。

ソリストとして、室内楽奏者として芸術の谷、ジャーンベークジャズオープンなどのフェスティバル、メルリン劇場、コンチェルトブダペストミュージックハウスなどで演奏し、その模様はハンガリーラジオによって中継された。コンチェルトブダペスト交響楽団と平行して、ワイネルサース室内オーケストラ、アマディンダ打楽器アンサンブルらともCDを録音し、ピアニスト、ボルベイ・ラースロー、ピアニスト、ターラシュ・アーロン、ギタリスト、クリスティアン・シュヴァイゲルトと共演した。

ロウエル・リーバーマン、マイク・モーワー、デイビッド・ヒースなどの作曲家をハンガリーに紹介した。

2012年には、スイスのウェギスで行われたサー・ジェームス・ゴールウェイのフルートフェスティバルにおいて、ソロリサイタルを開催。フェスティバルにはデニス・ブリアコフ、アン

ドレア・グリミネツリ、フィリップ・ベルノルド、ジム・ウォーカー、ラッフアエレ・トレヴィ
ザーニ、Prof. シェンジ・ヒ、ニコラ・マッザンティ、マルレーネ・ヴェルヴィらも参加していた。
2013年8月にはアメリカのフルート協会の招待でルイジアナ州ニューオーリンズで行われる定期
演奏会に出演予定。